

～ 構成団体 ～
 連 合 長 崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県中連懇話会
 労働金庫
 全 労 済
 県生活協同組合連合会



一 発 行 所 -
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町 9-6
 長崎県労働福祉会館内
 ☎ 095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発 行 日 隔 月 1 日
 発行責任者 松尾清弘

「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」展開中!!

(奨学金問題を重点課題に据えた運動を全国で展開：10～11月)

今年度も中央労福協の重点課題を基本とした全国共通のテーマを軸に、10～11月まで下記要領で「2016生活底上げ・福祉強化キャンペーン」を展開します。

1. 名 称：

「2016生活底上げ・福祉強化キャンペーン」

2. 時 期：10～11月

3. 目 的：

- (1) 次世代を担う若者を追い込む雇用劣化と“奨学金”問題の改善に向けて～給付型奨学金制度の実現と貸与型制度の改善への取組～

各世代・層（子ども・若者・ひとり親・女性・高齢者）に広がる格差や貧困が社会問題化しているなか、貧困の世代間連鎖を断ち切るために、1つの施策として“奨学金”問題を最重点課題と位置づけ、アンケート調査・署名活動・集会等取り組んできました。その成果として、2016年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」と「経済財政運営と改革の基本方針2016」

（骨太方針）に給付型奨学金制度創設の検討が盛り込まれ、文部科学省内に給付型奨学金制度検討チームが設置され、7月4日に第1回検討会議が開かれました。このような現状を踏まえ2016年も引き続き、「給付型奨学金制度の創設」、「現行制度の拡充・改善」に向け、第3ステージでの山場を設けながら、全国が一体となり、奨学金制度問題の更なる世論喚起（給付型制度導入への後押し）、社会運動（集会・街宣・議員要請・勉強会・対話等）をさらに進めていきます。

- (2) 生活・就労支援を強化し、生活困窮者を地域で支える取り組み

昨年4月にスタートした「生活困窮者支援制度」が機能するには、相談だけでなく、出口となる就労や居場所などの受け皿を地域につくる事が不可欠です。県労福協は「対長崎県要請書」の中に

織り込み、要請・協議・意見交換をはかっていきます。

- (3) みんなで労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げる取組

労働運動と労働者自主福祉運動の原点を再認識し、労働組合と福祉事業団体が「ともに運動する主体」としての関係の再構築を図り、組合員の利用促進や共助拡大に繋げていきます。

- ① 福祉事業団体と労福協が帯同し、各産別地方組織および各労働組合への訪問し【定期大会議案書へ自主福祉活動の一環として、「労働者自主福祉運動の推進」「労金運動の推進」「全労済運動・事業の推進」等に関する運動方針掲載ならびに機関誌・紙への関連情報の掲載等】の要請行動を行います。

- ② 福祉事業団体・労福協合同で、組合役員を対象とする研修会を10月に開催し、「労働者自主福祉運動・理念・歴史」に関する学習会を若年層を対象として2月に開催します。

1) 労働組合役員対象研修会

日 時：2016年10月29日（土）

場 所：セントヒル長崎

2) 労働組合の若年層対象研修会

日 時：2017年2月4日（土）

場 所：セントヒル長崎

中央労福協主催 地方労福協会議開催

中央労福協は9月7日標記会議を開催し下記事項について全体で確認すると共に、今後の進め方についても統一しました。

1. 「2016生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組みについて

2. 奨学金制度改善に向けた第3ステージの取組の具体的な進め方について
3. 2016～2017年度活動方針の補強について

全国研究集会 札幌市で開催!

～あらゆる世代・層に広がる 格差と貧困を解消するために～

2016年9月8日～9日にかけて「あらゆる世代・層に広がる格差と貧困を解消するために」をテーマに、北海道札幌市「札幌グランドホテル」で全国研究集会が開催され、全国から302名が参加、長崎労福協からは森会長・松尾事務局長が参加しました。

冒頭、主催者を代表して「中央労福協 神津里季生会長」より挨拶。歓迎挨拶を「北海道労福協 工藤和男理事長」・来賓挨拶を「北海道 高橋はるみ知事」より受けました。

1日目(講演)

講演1.「孤立と困窮を生まないまちづくり
“支え合い”を支える」として

講師：宮本太郎 氏（中央大学法学部教授）

講演2.「全世代に広がる貧困と生活困窮者支援」
～下流老人と若者世代～ として

講師：藤田孝典 氏

（NPO法人ほっとプラス代表理事）

2日目(特別報告・パネルディスカッション)

報告1.「ともに生きる地域づくり」

報告者：佐々木あゆみ 氏

（ワーカーズコープ北海道事業本部事務局長）

報告2.「ひとり親家庭の現状と活動から見える
社会的課題」～あなたの隣にある貧困～

報告者：平井照枝 氏

（しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道代表）

【2名の講演と2名の報告を受け、パネル・ディスカッション】

テーマ

～若者をはじめとする“貧困の世代間連鎖”を断ち切るため、いま私たちにできること！～

【パネリスト】

藤田孝典氏 NPOほっとプラス代表理事
石田輝正氏 連合 非正規労働センター局長
山崎俊一氏 北海道教職員組合
山田太郎氏 新潟県労福協 専務理事

【コーディネーター】

花井圭子氏 中央労福協 事務局長

南部労福協 第4回 労働運動・労働者福祉 運動の理念・歴史・リーダー養成 講座開催!!

南部労福協主催による若者を対象にした「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」を8月26日(金)13時から27日(土)12時まで、佐賀市の「ホテル マリトピア」で開催されました。長崎からは9名(男性4名・女性5名)が参加し、九州全体では81名の参加となりました。本研修の目的は、労働運動・労働者福祉運動(労働金庫・全労済等)の理念・歴史、労働組合と生協の関わりなどについて理解を深め、次世代のリーダーを育成する研修です。

1日目

講座1. 演題「働くことを軸とする安心社会」

講師：仁平 章 氏

(連合総合企画局 総合企画局長)

講座2. 演題「労働運動・労働者自主福祉運動への期待」

講師：古賀 伸明 氏

(中央労福協顧問・連合総研理事長)

2日目

講座3. 演題「聴いてよ 子どもの声を」

講師：桑原 宏樹 氏(警部)

(佐賀県警察本部 生活安全部課長補佐)

【事業体報告】

①九州労働金庫・沖縄県労働金庫

「しあわせ創造運動の取組み」について

九州労働金庫営業推進部 部長 道家豊 氏

②全労済西日本事業本部

「共済制度の歴史と大規模災害への対応」について
事業推進部 部長 延永尚任 氏

【参加者報告】

全労済 増田晴香

日常の業務や組合活動では聞くことのできない貴重なお話を聞けて良い機会でした。

労働組合活動にとどまらず、物事全般に対する考え方を改めるきっかけになりました。

連合長崎青年委員会 藤岳梨津子

今回の養成講座に参加させていただいて、特に印象に残ったのは(労働運動・労働者自主福祉運動への期待)の講座の内容で、現在の社会問題である低

所得者の増加や貧困の拡大、格差について危機感を感じました。

働きやすく安心して暮らせる社会を実現する為にも、これからの将来を担う私達の世代が積極的に組合活動を行う必要があると思いました。

組合役員としても、弱い人の立場に立って物事を見る努力をし、思いやりの心を忘れずに今後の組合活動につなげていきたいと思います。

ありがとうございました。

九州労金 安永亜紀子

今回の研修で、真面目な人が報われない・安心して子育てができる社会でない。貧困世帯が身近にあることから私達の運動は重要であり、自分は恵まれているほうなので、まわりの人の声を聞いて少しでも運動に参加していきたいと思いました。また、講義の内容が考えさせられる事ばかりで、それに対して自分の知識や情報量の少なさを実感させられました。「常に新しい風に吹かれよう・自己研鑽しなければ」という言葉が響きました。労金・全労済と組合員が昔と違い、業者とお客様になっていないか？ともに運動する主体にどうやって戻すか？合同で学習会を行う事を本気で考え実行していくことが必要だと思えます。2日目の佐賀県警（桑原警部）の体験談では胸にジーンときて泣きました。

「聴く事・良いところ探し」を仕事でも家庭でも実践していきたいと思えます。

J P 労組長崎みなと支部 支部長 三重英

労働運動の始まりや、日本での労働組合の歴史については、今まで単組での研修会において、聞いたことがあったが、どうしても単組内の話が主になり、その他の産別の歴史はそこまで聞いたことがなかった。もちろん自分が就業している会社の組合員の事を第一に考え、組合活動を行っていかねばならないが、考え方や組合員への説明を行う際には、色々な知識、これからの日本や世界の流れを考慮し、



他組織での活動の行い方を参考にして今までとは違う活動をしていかなければならないと痛感しました。

今までは、組合員からの相談に対して、一通りの話を落としどころを考えながら聞いていたが、やはり一人一人の考え方、今までの生活に伴い生活習慣が違うことによる、話の行い方、聞き方をそれぞれケースに当てはめるのではなく、全くのゼロから話を聞き、周りの組合員・職場の同僚に手伝ってもらって解決を図っていくようにしていこうと思いました。

長崎県労福協 第16次海外視察研修 無事？終了



長崎県労福協第16次海外視察研修は、8月28日（日）～9月1日（木）まで、4泊5日（機中で一泊）の行程で森会長を団長として24名が参加し「カンボジア（プノンペン・シェムリアップ）」を視察・訪問しました。

視察予定（二カ所）の子ども施設へは、連合長崎・ろうきん・全労済・労福協から準備した支援金の寄付と文房具類を森会長より贈呈しました。また、子供たちの喜ぶ顔が見たいと森会長が自ら購入したお菓子《東京バナナ・キットカット》を、視察団全員で子供たちへ配り大変喜んでいただきました。

その後、車中での現地ガイドによる「ポルポト政権学習会」の後、訪問する中でまだ数十年前の出来事であったことの再確認、トンレサップ湖の水上生活、車中や街中で多くのものを見聞することで、カンボジアが現在も発展途上国であり、貧困問題がまだまだ多く残っていることを目の当たりにすることが出来ました。

海外で多発テロが発生する中、家族を含めて心配される方も多かったのですが、無事、視察研修が終了することが出来ました。【3～4名の方を除いて、

視察研修途中から帰国後数日間、おなかの調子が悪くて皆さん大変でした。】今回の視察研修に際し、多大なご支援・ご協力をいただきました連合・各産別・労働組合・事業団体の皆様に厚く御礼を申し上げます。

尚、報告書作成中につき、完成後、参加者・各構成団体へ配布致します。

第3回南部ブロック協議会幹事会開催

9月14日(水)、南部ブロック協議会幹事会が長崎(九州労金長崎支店)で開催されました。

協議事項

- ①勤労者共済会の各県の取り組みについて
- ②南部労福協役員視察研修について
- ③本年度南部労福協「研究集会」開催について
- ④南部労福協幹事退任に伴う「記念品贈呈」について

中央労福協 第2回奨学金問題相談員養成研修会開催

9月26日(月)、連合会館(東京)で第2回奨学金問題相談員養成研修会が開催され、LSC長崎の中島相談員が参加しました。

講師：弁護士 岩重佳治 氏

- 講演内容：①現場で起こっている問題と背景
- ②日本学生支援機構の奨学金制度の概要、特に救済制度とその問題点
 - ③事例から考える奨学金相談(相談対応Q & A、法的対応基礎組織)

各地区労福協だより

大東地区労福協 ライフプランセミナー開催!!

■大東地区労福協は9月12日(月)、18時30分より大村市勤労者センターにおいて、セミナーを開催しました。参加者 51名参加。

内容は『特殊詐欺被害防止と対策』テーマに、大村警察署の高齢対策係長の浦瀬氏を講師として、被害実例を交えて講演を受けました。

特殊詐欺被害が連日マスコミで報道され、社会問題化する中で自身が被害を防止することと同時に、家族・友人・知人が遭わないよう「声かけ」をしようことが重要です。

組合員の財産を守るためにも、学習を深めていこうと確認しました。



事務局だより

第93回
労福協

クイズ

1. 九州ろうきん長崎県本部は、2016夏季〇〇〇〇〇〇応援キャンペーンで全店目標達成しました。〇〇〇〇〇〇に入るひらがな6文字は何でしょうか?
 2. 全労済の自然災害共済には大型タイプと〇〇タイプの2種類があります。(ヒント6ページ)
- ◎クイズの答えはハガキかFAXで、住所・氏名・職場名を明記し県労福協へ送付ください。

- ◎締切日は11月25日(金)(当日消印有効)
- ◎当選者10人の方に「秋の果物?」をお送りします。正解者多数の場合は抽選で決めます。
- ◎送り先
〒850-0031 長崎市桜町9-6 勤労福祉会館内
長崎県労福協クイズ係
- ◎FAX (095) 811-6132
- ◎前月号当選者(敬称略)
片岡 義人(長崎) 内野いつみ(長崎)
森 タカ子(五島) 月川伊代子(五島)
山口 好春(佐世保) 浅井 智晴(大村)
上島 千鶴(諫早) 川野 泉(大村)
前野 智子(大村) 水口千代子(大村)

「第15回全県推進委員交流集会」を開催 会員とろうきんは“ともに運動する主体”を再確認！



(開会挨拶をする
中野推進委員長)

九州ろうきん長崎県本部推進委員会は、9月9日(金)、長崎市のホテルニュー長崎において、県内各地より推進委員(青年・女性推進委員含む)、書記さん、役職員を含めた約140名の参加で、「第15回九州ろうきん長崎県本部全県推進委員交流集会」を開催した。

集会は、「ろうきんはなぜ、60有余年の歴史を綴れたか～これからのろうきんを考えよう～」をテーマに、講演とグループワークが行われ学習と交流を深めた。来賓として長崎県労福協の原田副会長(全労済長崎県本部本部長)、全労済県本部・辻野事業推進部長、金澤長崎支所長も出席した。

中野推進委員長(県職連合労組)の主催者あいさつでは、本集会の開催趣旨が説明され、本集会は「原点に立ち返ったろうきん運動の推進」を再確認するとともに会員・組合員のお役に立つろうきん運動の取り組みを各店・地域の推進機構が主体的に進めていくための集会であることが説明された。

■講演・・・「WIN-WIN-WIN」で、労働組合も組合員もろうきんも一歩前進しよう！

講演では、労金協会のろうきん運動推進アドバイザー渡邊秀與氏(全駐留軍労働組合長崎地区本部書記長)から「全駐留軍労働組合長崎地区本部が取り組むろうきん運動を通じての提言」と題し、労働組合がろうきん



(熱く語る渡邊アドバイザー)

を推進する意義やこの間実施してきた具体的な取り組みを披歴しつつ、①組合員のためになる制度・商品を持っているろうきんを組合が推進することで組合員は生活改善・向上ができる、②組合員の利益は労働組合の組織拡大・強化に繋がる、③ろうきんの利用が進めば、ろうきんとしてはさらに良質なサービスが提供できる、④したがってこのような好循環で組合員と労働組合とろうきん「WIN-WIN-WIN」の関係を創っていかなくてはならない・・・と提言された。

その後の各店・地域推進委員会別のグループワークでは、昨年の全県推進委員交流集会で確認された取り組みの振り返りと、今後の具体的な取り組みについて議論が進められ、全グループから発表が行われた。

集会後の交流会では、トランプゲームや地域特産物の抽選会で盛り上がり、県下的な交流が深まり成功裡に終了した。



(熱心に議論をしている
グループワーク)



(発表をしている佐世保地域
木下副推進委員長)

■2016夏季こどもみらい応援キャンペーン寄付金贈呈 ⇒ 巣立ちを応援！

夏季キャンペーンは各営業店の奮闘で全店での目標達成が実現できた。その結果として長崎県児童養護施設協議会に410,004円の寄付が決定され、本集会の中で、この取り組みに協力いただいた多くの会員の皆さんの前で森田本部長から寄付金決定のお知らせと目録を安河内同協議会会長に手渡した。会員の皆さんとろうきんの福祉金融機能について共感を深める機会になった。



(目録を贈呈する森田本部長と安河内会長)



災害は忘れた頃にやってくる！ 自然災害への備えは大丈夫？



2016年是大雪の被害や熊本地震、そして台風や豪雨の被害が各地で相次いでいます。
2016年9月19日(月)～21日(水)にかけては台風16号が九州に上陸し、各地で大きな被害が発生しています。全労済では迅速に現場調査を行い、被災された組合員のために、一日も早い共済金支払いを行っています。

台風の通り道でもある九州は毎年台風による大きな被害を受けています。全労済の住みいる共済では自然災害共済で台風や地震、雪害による住宅・家財の損害に備えることができます。

しっかりとご自身の備えを確認しておきましょう。



新火災共済

新火災共済の保障の範囲です

火災など

- 火災
- 落雷
- 破裂・爆発
- 突発的な第三者の直接加害行為 (損害額5万円以上)
- 他人の住居からの水ぬれ
- 消火作業による冠水・破壊
- 他人の車両の飛び込み
- 建物外部からの物体の落下・飛来

新自然災害共済

新自然災害共済の保障の範囲です

風水害などの保障が、より手厚くなります

風水害など

- 暴風雨
- 突風・旋風(竜巻含む)
- 台風
- 高波・高潮
- 洪水
- 豪雨・長雨
- 雪崩
- 降雪
- 降ひょう
- 上記による地すべりもしくは土砂崩れ

地震など

- 地震による損壊
- 地震による火災
- 噴火による損壊
- 噴火による火災
- 津波による損壊

盗難による損害

- 盗難による盗取・汚損・損傷が生じ、所轄警察署に被害の届け出をした場合

幅広い保障範囲

- 火災など
- 地震など
- 風水害など
- 盗難による損害
- プラス** 特約をプラスしてさらに安心
- NEW** 類焼損害保障特約 <近隣への延焼対応に>
- NEW** 盗難保障特約 <万一の盗難に備えて>
- NEW** 個人賠償責任共済 <「もしも」の賠償に備えて>
- 借家人賠償責任特約 <貸主に対する損害賠償を保障>

家計に負担をかけない手頃な掛金

戸建て 加入プラン例

月々の掛金
2,000円

主な保障額	最高
火災など	1,000万円
風水害など	1,000万円
地震など	300万円

※住みいる共済(新火災共済+新自然災害共済+大型タイプ)に100口加入(木造構造)

マンション 加入プラン例

月々の掛金
950円

NEW マンション専用プラン (風水害保障なしタイプ)
風水害リスクの低いマンションのために、火災や地震などに保障を限定した掛金が手頃なプランです。

主な保障額	最高
火災など	1,000万円
地震など	300万円

※住みいる共済(新火災共済+新自然災害共済+大型タイプ)に100口加入(マンション構造専用風水害保障なしタイプ)

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

【お問い合わせ先】 下記の全労済長崎県本部各支所へ

- 長崎支所 長崎市宝栄町3番15号
TEL (095) 864-7144 FAX (095) 862-8127
- 佐世保支所 佐世保市城山町1番22号
TEL (0956) 25-8012 FAX (0956) 22-7292